

北九州市立大学新学部棟新築工事基本設計業務委託
基本設計の概要

令和 7年 3 月
公立大学法人 北九州市立大学

1 計画概要

1-01 敷地概要

敷地住所	福岡県北九州市小倉北区魚町4丁目
用途地域	商業地域
防火地域	防火地域
その他 地域/地区	高度地区(最低限度高度地区11m)、景観重点整備地区(小倉都心地区)、 特別用途地区(小倉都心小売商業振興特別用途地区)
敷地面積	3,812.19㎡
建蔽率	100%(基準建蔽率80%かつ、防火地域内の耐火建築物のため建蔽率適用なし)
容積率	800%

1-02 建物概要

主要用途	大学・商業施設
階数	地上5階・地下0階・塔屋1階(1階：商業施設、2～5階：大学施設)
工事種別	増築(A建物の増築)
最高高さ	26.40m
建築面積	968.71㎡
延べ面積	3,944.13㎡(大学施設:3,565.22㎡、商業施設:378.91㎡)
構造種別	鉄骨造
基礎工法	杭基礎



1-03 スケジュール(想定)

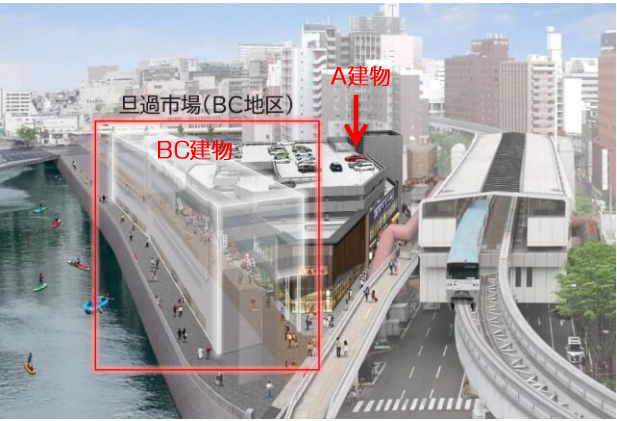
	1 年目	2 年目	3 年目
実施設計	●————→		
工事		●————→	→

1-04 新学部概要

学部名称(仮称)	情報イノベーション学部
学科名称(仮称)	情報エンジニアリング学科(入学定員：68名)、共創社会システム学科(入学定員：50名)
入学定員	118名(収容定員472名)
学位	学士(情報工学)
開設時期	令和9(2027)年4月
特色	実社会が求める即戦力人材を養成するため、市内企業と連携し、実際のビジネスにおける課題解決能力を身につけるべく、より実践的な教育を展開

2 基本計画

- コンセプト
 - ・市内企業を中心とした産学連携によるイノベーションを生み出す共創の拠点として、まちのにぎわいづくりを創出し、地域とともに歩むキャンパス。
- 旦過市場に設置することで期待できる効果
 - ・情報関連企業が集積する小倉都心部に設置することで、企業等との連携による高度なデジタル人材を輩出、供給するというミッションを最大限発揮。
 - ・北九州市内へのさらなる企業集積。
 - ・公立大学として都心部のにぎわいやまちの発展に貢献。
 - ・学生に対し、より充実した学びの場の提供。
- 外観・色彩計画
 - ・まちと調和した景観に配慮しつつ、先進的でスタイリッシュな校舎とします。
- わかりやすいフロア構成
 - ・1階は立体道路に面して、大学玄関を設置し、2～5階を大学専用フロアとします。
- 防災計画
 - ・地震・浸水・火災等の災害への対策を行い、安全安心な大学校舎を実現します。
- 地球環境にやさしく、快適な学習環境
 - ・神嶽川に面し採光や眺望が期待できる西側に開口を大きく確保しつつ、西日対策と冷房負荷の低減を図り、快適な学習環境を整備するため、適切な日射遮蔽を計画します。
- ユニバーサルデザイン
 - ・各階に多目的トイレを設ける等、だれもが使いやすい施設づくりを行います。



3 基本設計図

- ・2～5階を大学専用フロアとします。2階部分には、外部の人の出入りがあるアントレ/企業連携や多目的演習室を設置します。
- ・3階は教室のフロア、4階は教員室と会議室等事務フロア、5階は研究室フロアとします。
- ・屋上には学生の交流スペースを確保します。

